

# 標識アンカー点検の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示書の内容確認</li> <li>安全打合せ書による。</li> <li>作業別安全チェックシートの活用。</li> <li>安全装置の確認</li> </ul>
高所作業車・クレーンの設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検用の高所作業車を設置する。</li> <li>バケット内には、2名乗り込み架線、支柱等に十分注意し所定の高さまで上昇させる。</li> <li>クレーンは水平に設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業車の設置は、平坦な場所に必ず敷き板を使用しアウトリガーを成るべく一杯まで張り出す。</li> <li>積載荷重の確認をする。</li> <li>有資格者による、機械作業を行う。</li> </ul>
標識支柱の撤去設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>帯を使用しアーム部分を吊り上げボルトを撤去し吊りおろす。</li> <li>支柱に玉掛をしアンカーボルトのナットを撤去し支柱をはずす。</li> <li>はずした支柱は、地面まで下ろし振れないようにする。</li> <li>アンカーを点検し標識を元に戻す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全帯を必ず使用する。</li> <li>作業に合った保護具を使用する。</li> <li>道具等の落下に十分注意する。</li> <li>ナット等の閉め忘れが無い様に十分締めつける。</li> <li>吊り荷の下には入らない。</li> </ul>
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナットの締め付けを確認しモルタル補修を行う。</li> <li>使用した道具、機材をトラックに積み込み、最後に竹ぼうき等で清掃を行う。</li> <li>この時に施行もれがないか再度確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> </ul>

作業編成(標準)	機材	資材	安全器具・保護具	
			ヘルメット	
			反射(自発光)チョッキ	
			警笛	
			保護メガネ	
			粉塵マスク	
			安全帯	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 安全帯を必ず使用する。
- 作業に合った保護具を使用する。
- 有資格者による、機械作業を行う。
- 規制内の車輛誘導は、必ず行う。
- 一般道での作業の場合は、通行人等の通行は、十分注意し、優先する。
- 一人作業の禁止**